

令和4年度 第1回 健康うらやす21(第2次)推進検討委員会 議事要旨

1. 開催日時

令和4年7月5日(火) 午後1時15分～午後2時45分

2. 開催場所

健康センター リハビリルーム

3. 出席者

[委員]

福島委員長、畑中副委員、上平委員、宮川委員、立石委員、原田委員、影山委員、岡崎委員、
蛭名委員、酒匂委員、菅井委員、石川委員、大塚委員、宮沢委員、阿部委員、高橋委員、
坂口委員、大村委員、宮坂委員

[事務局]

健康こども部 野崎部長、吉泉次長
健康増進課 森課長、磯貝課長補佐、梅澤副主幹、島崎、橋本
母子保健課 峯村課長、手島課長補佐、阿部係長、鈴木、岩佐

4. 議事

- (1) 挨拶 (福島委員長)
- (2) 新委員紹介
- (3) 議題
 - 1) 事務局説明
 - ① 浦安市のコロナ感染症の状況について
 - ② 健康うらやす21(第2次)推進について
 - 2) 意見交換

5. 議事の概要

- (1) 挨拶 (福島委員長)

それぞれが元気でこの土地で健やかにそして最後まで住まれていくということを目指して、活発意見交換をして欲しい。
- (2) 新委員紹介

市川健康福祉センター長 影山委員、浦安市小・中学校PTA連絡協議会副会長 高橋委員、浦安地区公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会北部認定こども園会長 坂口委員の紹介をした。
- (3) 議題
 - 1) 事務局より説明
 - ① 浦安市のコロナ感染症の状況について
 - ② 健康うらやす21(第2次)推進について

国が健康日本21(第2次)の計画期間を平成25年(2013年)から令和4年(2022年)までであったのを1年延長し、令和5年(2023年)までとしたことを受け、千葉県も同様に1年延長となった。これにより、浦安市でも国、県の動向を踏まえ、最終評価年度を1年延長し、令和6年(2024年)までとした。
計画期間を1年延長するが、計画に掲げる目標や内容等についての変更は行わない。
 - 2) 意見交換
(委員)

浦安市の中にいま49の老人クラブに、3200人所属しているがフレイルで具合が悪くなる方が結構いた。一人暮らしの会員の自宅訪問を徹底してやっている。

(委員)

市P連も事業の中止が相次ぎ、先生方と保護者の交流が失われたのは事実。一方でセミナー系に関してはオンラインで開催できたので、逆に参加率が上がった。青年期、子供たちの死亡理由の1位が自殺だと初めて聞き、いじめが自殺の死亡理由が少なくとも上位に上がらないような取り組みをしていけたらと感じた。

(委員)

健康推進員は、青年・壮年期対象にカルシウムチェックや立ち上がりテストを行ったのだが、アンケート方式で食事からカルシウム量を推定すると、必要量の半分以上の方がほとんどだった。20代までに骨量がほぼ決まることを考えれば、健康寿命をのばすという意味では、保護者世代への普及啓発が大切だと感じた。

(委員)

82自治会の連合会では、今年から定例会をzoomと会場とで毎月やっている。今年納涼盆踊り大会はやる方向だがコロナ感染対策でいろいろ苦労している。

(委員)

コロナのピークの頃に比べると子供が出かけられる場所やイベントも増えてきて、ありがたい。

(委員)

マスクの件に関して、学校も県・国の方針を経て外す場面を教えている。コロナの当初は、「マスクして」と言ってもしてくれなかった子たちが、今は「マスクをとることが恥ずかしい」と、外せない子たちになっています。学校は今、感染症と熱中症と節電、この3つをどうにか切り抜けなければいけない中で、コミュニケーションの不足が課題。

今後、マスクを外して取っ組み合って遊べて、笑い合ってご飯が食べられるようになった時、行事を元に戻すのと同時に、子どもたちの心の面でも今まで通りの関わり合いができるように、行事など精選していきたいと考えている。

(委員)

コロナ禍になってから小学校に入学した我が子は、給食の時グループで食べる楽しさがなく黙食。休み時間に一斉に校庭に出て遊ぶということもなく、今週は〇年生という感じで決められている。子どもたちの心の健康を、親が、大人がしっかりケアしていきたいと思う。

(委員)

団塊の世代の方たちは今年75才を迎えてまさに高齢化社会に突入している。家にいることが多くなり、食も細くなり、運動もしなくなっていて、家の中でつまずいりケガをしたりするリスクが高くなっている。そんな消極的になっている人たちへの取り組みに期待している。

(委員)

介護予防推進事業に携わってきたが、そういう事業を運営している人たちさえ精神的に参ってしまっている人が多い。自分たちが受け取る情報を本当によく読んで、自分なりに解釈しないと難しい世界になったと思う。

(委員)

オーラルフレイル予防も大事。運動して基礎代謝をあげて、社会とのつながりを持って、おいしく食事が摂れることが、健康長寿には非常に大事。歯科医師会では市民公開講座を企画している。

(委員)

OTC(市販薬)の乱用が問題になっている。コロナとかになって、逃げ場がそっちのほうになっている。捕まらない、どこでも買えるというところから、頭痛薬1瓶いっぺんに飲んでしまうなどの乱用や、エナジードリンク、カフェイン問題などの身近なところに若者の心の健康のリスクがある。

(委員長)

この健康うらやす 21 の中で大事にしている、「つながる」ということが、この 2、3 年の間閉ざされてしまっている。いろんな価値観や考え方をを持った方が住んでいる。いろんな情報が入ってくる。人は一人では弱いであり、団体になって、チームを組みながら進んでいくということの大切さを、本日の活発な意見交換で改めて感じた。

今後もそれぞれの立場、それぞれのアプローチ方法で、一緒に健康うらやすを推進して行きたい。

(事務局)

次回の委員会：令和 5 年度

問い合わせ先 健康こども部 健康増進課 担当：橋本 弥生 電話 047-381-9059